

カワウソ

Lutra lutra (Linnaeus)

ネコ目イタチ科

石川県カテゴリー 絶滅

国カテゴリー 絶滅

選定理由

近年まで生存していたものの、現在では絶滅したとされている。

形態

背面はややくすんだ褐色で、胸から腹側は白っぽい毛色をしている。四肢の指の間には水掻きがあること、尾が太く円錐形をしていること、歯は大きく鈍臼歯状であることからほかのイタチ科の動物と区別できる。頭胴長70cm、尾長46cm、体重8kgが記録されている。

国内分布

かつて、北海道から九州まで、対馬などの離島を含めた河川の下流部に生息したが、現在では高知県南西部で生息が確認されているにすぎない。

県内分布

かつて犀川、浅野川、手取川などにカワウソにだまされたという民話があるが、県内に広く分布していたものと思われる。白山市の旧尾口村、旧吉野谷村地区では大正期に目撃した例が残されており、また、七尾市の熊淵川で昭和初期まで生息していたという。

生態

河川の中下流部から沿岸部に生息し、水中で魚類、甲殻類、陸上で野ネズミ、鳥類などを捕食する。川岸に巣穴を掘り、家族単位で生活する。

生息地の条件

種の存続が可能な個体数が生存できるだけの豊富な魚類などの餌が四季を通じて得られ、溪畔林や草地など人為的攪乱の少ない広大な生息環境が必要。

絶滅の原因

良質な毛皮のため乱獲されるとともに、全国的な河川改修やそれに付随する溪畔林や草地が破壊され、さらに河川環境の悪化に伴う餌となる魚の量の不足などが重なり、日本では絶滅の道をたどった。

写真（図）はありません。

分布図はありません。

県内の分布